

武雄市の文化財

今回は、武雄市内にある指定文化財のうち、史跡（城跡）について紹介します。

国及び市に指定されている城跡として、『おつほ山神籠石』と『住吉城跡』があります。

『おつほ山神籠石』は、杵島山西麓の小丘陵に築かれた古代山城です。昭和38年の発掘調査の結果、おつほ山にある列石は土塁の基礎であり、列石の前面に約3m間隔で柵列の柱が存在していたことが明らかにされました。この調査により「神籠石は山城か神域か」という論争に一定の決着をつけたという意味で、注目されている遺跡です。

列石の全長は約1.8km、途中に門跡2ヶ所と谷水を流すための水門が2ヶ所確認されています。列石の石材は地元産で、1313個が残っています。

築城年代は、7世紀中頃と推定されていますが、正確な年代や築城の目的、性格については今日でも謎に包まれた山城です。

『住吉城跡』は黒髪山の東麓に築かれた平山城です。築城の年代



おつほ山神籠石全景

は不明ですが、後藤氏の居城として塚崎城と共に利用されてきました。住吉城では、様々な戦いが繰り広げられましたが、慶長4年（1599）後藤茂綱の代に廃城となりました。

「住吉御城跡図」には、土塁や空堀が巡らされ、土塁の内に領主館や家臣の詰所、武器兵糧蔵などが記されています。現在は、空堀と石垣の一部と礎石、井戸等が残っています。



住吉御城跡図

Takeo-city Library & Historical Museum information

企画展のご案内 武雄市図書館・歴史資料館 企画展

「童話のなかのヒロイン」

童話に登場する『お姫さま』といって、思い浮かぶのはどんなものでしょうか。「白雪姫」「シンデレラ」「眠り姫」「人魚姫」は、多くの皆さんがご存知のヒロインだと思います。大人になっても、その名前を聞けばおとぎの世界を思い出すことができるでしょう。

今回の企画展では、この4人のお姫さまの魅力や物語に出てくる登場人物の役割、また童話のもつ不思議を紹介し、小さなお子さまにも楽しんでいただける分かりやすい手作りの展示をしていますので、ぜひみなさまでご覧ください。

- 会 期 平成19年1月14日(日)まで
- 休 館 日 月曜日(月曜が祝日の場合はその翌日も)・祝日・第3木曜日
年末年始(12月28日(木)～1月4日(木))
- 観覧時間 午前9時～午後6時(金曜日は午後7時まで)
- 問 合 せ 武雄市図書館・歴史資料館 電話 20-0222
- 会 場 武雄市図書館・歴史資料館 企画展示室
- 観 覧 料 無 料

図書館データ (11月)

- 入館者数 20,243人 (累計 1,796,377人)
 - 貸出冊数 26,632冊 (1日当たり 1,110冊)
 - 登録者数 110人 (累計 29,304人)
- まだ登録されていない方！図書館ではあなたの登録をお待ちしています。
- 図書 10冊 15日間
 - 雑誌 2冊 8日間
 - AV資料 2点 8日間

武雄市図書館
歴史資料館だより



人の動き



総人口 52,358人
男 24,778人
女 27,580人
世帯数 16,802世帯

武雄町 15,980人 (5)
橋 町 2,850人 (△41)
朝日町 5,694人 (△70)
若木町 2,010人 (△17)
武内町 2,744人 (△75)

東川登町 2,691人 (△40)
西川登町 2,218人 (△32)
山内町 9,598人 (△83)
北方町 8,573人 (△53)



平成18年11月30日現在